

ベルマンビジット ドアセンサ発信機

BE1410

---



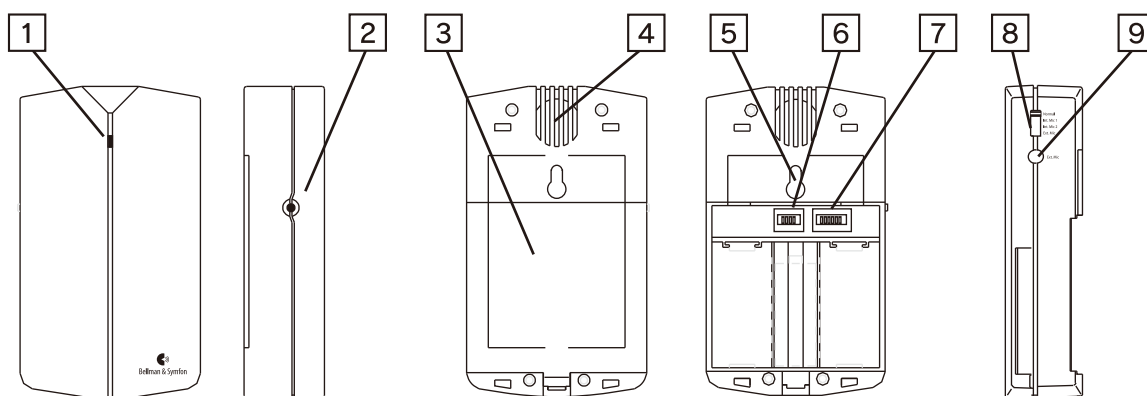
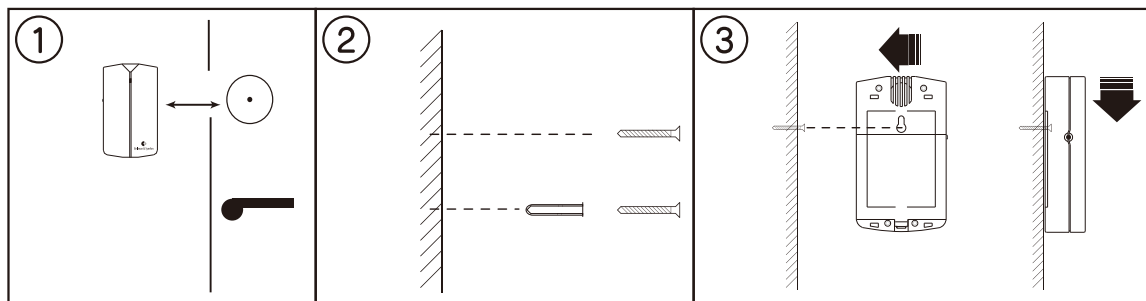
株式会社 自立コム

<http://www.jiritsu.com/>

## 使用方法

### 〈取り付けと機器のテスト〉

1. 電池収納蓋 **3** を外します。9V のアルカリ電池またはリチウム電池 1 本を装着し、蓋を元に戻します。  
同梱の電池はモニター用ですので、早期の交換をおすすめします。
2. テストボタン **2** を押します。LED **1** が点灯し、無線信号を発信していることを示します。  
各種受信機がドアセンサからの無線を受信したことを表示 (ドアのマーク) します。  
ハウリングを避けるためドアセンサは 2 秒後に無線発信します。
3. ドアセンサはドアベルやドアチャイムなどの音源から 3cm 以内の壁やドアに設置してください。  
ドアセンサは同梱のネジを壁に打ちつけて壁掛け用穴の **5** に吊り下げるか、両面テープで固定します。  
下図 (① ~ ③) を参照してください。  
両面テープを利用する場合は、壁面の表面をきれいにしてください。
4. ドアベルやドアチャイムを鳴らしてドアセンサを作動させます。
5. ドアセンサの LED **1** が点灯し、受信機側に無線信号を発信していることを示します。  
受信機はドアセンサからの無線を受信したことを表示します。



**1** LED : 発信 / 電池残量表示  
(詳細は表示及び信号の項を参照)

**2** テストボタン / 押しボタン

**3** 電池蓋

**4** マイク

**5** 壁掛け用穴

**6** 信号切替スイッチ

**7** 無線切替スイッチ

**8** プログラムスイッチ (通常 Normal に設定)

**9** 外部マイク接続端子

## はじめに

ベルマンビジットシステムは各種の無線発信機と受信機から構成されています。各発信機は周囲の出来事を感じし受信機に無線信号を発信します。受信機は無線信号を受信して、その出来事を光、音または振動でお知らせします。ご使用前に操作マニュアルを一読してから機器を設置してください。マニュアル内に描かれているベルマンビジットのイラストを参照してください。

## 機能の概要

ドアセンサはベルマンビジットシステムの一部を構成する室内使用専用の発信機で、ドアベルやチャイムなどの音や磁場を感じしてお知らせするものです。

ドアセンサは、内蔵のマイクが音や磁場、または外部マイク(付属：BE9200/別売：BE9199)により音を感じます。納品時のドアセンサは、多くのドアベルやドアチャイムの音を感じする標準的な設定になっています。

ドアセンサは、著しく変化のある音色ではなく、明瞭な音色のドアベルやドアチャイムの音に適しています。電気機械式のドアベルやドアチャイムの場合は、音だけでなく機械が発生する磁場を感じすることもできます。ドアセンサが人の声、音楽、掃除機の音などに誤って反応しないためにも、ドアベルやドアチャイムからは明瞭な音色の音が発生することが大切です。

ドアセンサがご自宅のドアベルやドアチャイムの音を感じし難い場合、またはドアベルやドアチャイムの間近にドアセンサを物理的に設置できない場合には内蔵のマイクではなく、外部マイク(付属：BE9200/別売：BE9199)を利用することもできます。ただし、外部マイクを使用する場合は、ドアベルやドアチャイムの音を記憶させる必要があります。

外部マイクを利用してもドアベルやドアチャイムの音を感じできない場合は、ドアセンサ以外での解決をお勧めします。他に考えられる解決方法は、プッシュボタン式のドアベル発信機(BE1420)またはテレホンセンサ発信機(BE1410)などがあります。

プッシュボタン式のドアベル発信機は玄関ドアの外側に設置し、押しボタンを押すことにより直接各種受信機に無線発信します。

テレホンセンサ発信機は、多目的発信機で、現在あるドアベルやドアチャイム(移報接点付き)と直接接続することができます。ただし、すべてのドアベルやドアチャイムと接続できるわけではありません。

### 〈音源の学習機能〉

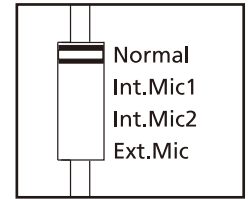
ドアセンサ発信機は、最大3種類の音源を聞きわけることができます。この機能は音源の違いにより、それぞれ異なる表示をさせることができるだけでなく、必要な音源だけに反応させることができます。例えばドアセンサ発信機を設置する場所が掃除機やテレビの音、人の話し声が常にする場所で誤作動を起こす心配がある場合に学習した音源以外の音には反応しないようにすることができます。

ドアセンサには、2つの内蔵マイクと1つの外部マイクがあり、それぞれを経由した3種類の音の学習機能があります。ただし、マイクの学習機能はある程度の長さを持つ同一パターンの音源を感じするもので、極端に変化したり、短い音源は記憶することができません。

**注意：**外部マイクを使用して音源の音を記憶させる場合は、誤作動を避けるために、同じ音源の音を内蔵マイク1と内蔵マイク2にも同時に記憶させておくようお勧めします。

#### 〈音源の学習機能の記憶方法〉

1. プログラムスイッチ **[8]** を **Normal** から記憶させたいマイク **Int.Mic1** (内蔵マイク 1)、**Int.Mic2** (内蔵マイク 2)、**Ext.Mic** (外部マイク) の中から選択し合せてみます。
2. 記憶させたい音源のドアベルやドアチャイムの近くにドアセンサを置きます。
3. 周囲に雑音がないことを確認してください。
4. ドアセンサ発信機のテストボタン **[2]** を押します。
5. LED **[1]** が黄色に点灯し、ドアセンサ発信機が学習モードになり、音源からの音を待ちます。(10 秒間)
6. ドアベルやドアチャイム等の音源から実際に音を発生させます。
7. LED **[1]** が緑色に点滅し、音源を分析します。
8. ドアセンサが音源を記憶すると、LED **[1]** は緑色の点滅から点灯に変わります。  
音源の中には分析不能で検出できないものもあります。  
一度記憶したドアベルやドアチャイムの音を実際に正しく反応するかどうか設置前に確認してください。  
もし、正常に反応しない場合は、次のステップに移ってください。
9. 音を記憶しない場合は LED **[1]** は黄色に点灯します。その場合は再度 **1 ~ 6** のステップを繰り返してください。  
それでも記憶できない場合、その音源はドアセンサが検出し学習できない種類の音かもしれません。  
もし、ドアベルやドアチャイムに他の種類の音源を発生することができる場合は、他の音源で **1 ~ 6** のステップを再度お試しください。または外部マイクを利用する場合も **1 ~ 6** のステップを行ってください。
10. プログラムスイッチ **[8]** を **Normal** の位置に戻します。
11. ドアセンサ発信機を使用できる状態に設定できました。



ドアセンサ発信機は、上記のような音源の記憶を行わなくても、通常の音源検出を行います。特に音源を記憶させる必要がなければ、上記のプログラム変更は必要ありません。

#### 〈音源の学習機能の解除方法〉

学習機能で記憶したものを解除するには次のようにしてください。

1. プログラムスイッチ **[8]** を **Normal** の位置から記憶させた **Mic** 位置に移動します。
2. テストボタン **[2]** を LED **[1]** が黄色に点灯するまで長押しします。
3. LED **[1]** が緑色に点灯すれば解除は完了です。
4. プログラムスイッチ **[8]** を **Normal** の位置に戻します。
5. ドアセンサ発信機は通常通り使用できる状態になりました。

マイクにより標準的な音の検出を行う場合は、**Int.Mic1**、**Int.Mic2**、**Ext.Mic** に記憶したものを解除しておく必要があります。

## システム表示及び電源

ドアセンサが作動中、LED **[1]** は緑色に点灯します。これは電池残量が充分にあることを示します。  
LED **[1]** が黄色に点灯した場合は電池残量が少なく交換時期であることを示します。電池は 9V アルカリ電池または 9V リチウム電池を使用して下さい。

## 電磁的検出及び障害警告

ドアセンサの内蔵マイクには、電気機械式のドアベルやドアチャイムから発する電磁場を検出する機能があります。誤作動や不動作をより少なくするための選択肢です。ドアセンサが確実に作動するためには、ドアセンサをドアベルやドアチャイムなどの音源から 3cm 以内に設置して下さい。

ドアセンサが高い雑音または電磁場に 15 秒以上露出している時、LED **1** が黄色にフラッシュします。もし、無音にも関わらず LED が点滅をした場合は、次のことが考えられます。

1. ドアセンサの設置している場所に電磁場がある。  
※1 の場合は信号スイッチ **6** の最初のディップスイッチを OFF の状態にして電磁的検出を停止して下さい。信号パターンの項を参考にして下さい。

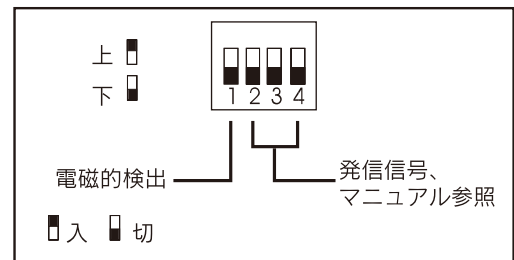
## 無線設定

通常は設定変更などの調整は必要ありません。ただ、お近くに別のベルマンビジットシステムが存在するような場合、お互いの電波干渉を避けるため、それぞれのベルマンビジットシステムをグループ毎に無線設定することができます。すべてのベルマンビジット製品は工場出荷時に無線切替スイッチ **7** は同一 (OFF) に設定されています。お互いのシステムが混信しないよう無線設定を変更する場合には、

1. 無線切替スイッチ **7** を適当な位置に変更します。  
その場合、同一グループ化したい他の発信機の切り替えスイッチも必ず同一の位置に設定してください。
2. 次に同一グループ化したい受信機側との無線設定が必要です。  
設定方法は各受信機側の無線設定の項を参照してください。

## 信号パターン

















信号パターンはベルマンビジット受信機にどのようなパターンの信号を表示させるかを定めるものです。発信機側の信号スイッチを変更することにより、受信機側の信号パターンを変更することができます。



### 信号パターンの種類

信号タイプ	LED パターン	アラーム音パターン	振動パターン	フラッシュパターン
緑1	緑： 常時点灯	低音のチャイム音 x 1	間歇	点滅
緑2	緑： 2 回連続点滅	低音のチャイム音 x 2	間歇	点滅
緑3	緑： 3 回連続点滅	高音のチャイム音 x 1	間歇	点滅
緑4	緑： 常時点滅	高音のチャイム音 x 2	間歇	点滅
黄1	黄： 常時点灯	低音のベル音 x 1	断続	点滅
黄2	黄： 2 回連続点滅	低音のベル音 x 2	断続	点滅
黄3	黄： 3 回連続点滅	高音のベル音 x 1	断続	点滅
黄4	黄： 常時点滅	高音のベル音 x 2	断続	点滅

信号スイッチと信号パターン一覧表

各入力信号からの信号パターン				
信号スイッチ	電磁的検出入(上)、切(下)	標準、Int. Mic.1 及びテストボタン	Int. Mic. 2	Ext.Mic.
	切	緑1	緑4	緑2
	切	緑2	緑2	黄1
	切	緑3	緑2	黄2
	切	緑4	緑1	緑3
	切	緑1	緑3	緑4
	切	緑2	緑4	黄4
	切	緑3	緑1	黄3
	切	緑4	緑2	緑1
	入	緑1	緑4	緑2
	入	緑2	緑2	黄1
	入	緑3	緑2	黄2
	入	緑4	緑1	緑3
	入	緑1	緑3	緑4
	入	緑2	緑4	黄4
	入	緑3	緑1	黄3
	入	緑4	緑2	緑1

## トラブルシューティング

故障かなと思ったら販売元や輸入元に修理を依頼する前に下記のことをご確認してください。

症 状	対 策
テストボタンを押しても何の反応もない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ドアセンサはハウリングを避けるために 2 秒遅れて作動します。再度、お試してください。</li> <li>●電池を交換してください。必ず 9V アルカリ電池または 9V リチウム電池を使用してください。</li> <li>●発信機、受信機がすべて正しく接続されているかを確認してください。</li> </ul>
ドアセンサが作動すると LED <b>1</b> が黄色に点灯する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●電池残量が少なくなっています。電池を交換してください。必ず 9V アルカリ電池または 9V リチウム電池を使用してください。</li> </ul>
ドアセンサが作動すると LED <b>1</b> は緑色に点灯するが、受信機がまったく反応しない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●受信機の電池または電源を確認してください。</li> <li>●全ての機器の無線設定が同じ位置であるか確認してください。無線設定の項を参照してください。</li> <li>●発信機と受信機の距離が離れすぎていないかどうか、双方を近づけて確認してください。</li> </ul>
受信機にドアセンサからのアラームが表示されると思っていたのに別の信号パターンが表示された。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●信号切替スイッチを工場出荷時の (On、Off、Off、Off) に設定してください。もし、学習機能が設定されている場合は、マニュアル内の学習機能の項を参考にして解除してください。</li> </ul>
ドアベルやドアチャイムが鳴っているのに、ドアセンサが作動しない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●音源から離れすぎているのかも知れません。お互いに 3cm 以内に設置して動作確認をしてみてください。</li> <li>●3cm 以内に設置が難しい場合は外部マイクを使用して、音を記憶させてください。学習機能の項を参照。</li> <li>●電池残量が少なくなっている可能性があります。テストボタンを押して電池残量を確認してください。</li> </ul>
ドアベルやドアチャイムが鳴っていないのに、ドアセンサが作動する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ドアセンサの周囲にループ誘導コイルなどの電磁場がある場合は、電磁的検出を Off にしてください。電磁的検出の項を参照してください。</li> <li>●ドアベルやドアチャイム以外の音に反応しているのかも知れません。ドアセンサの学習機能により反応させたい音を記憶させてください。学習機能の項を参考にしてください。</li> </ul>
LED <b>1</b> が黄色に点滅する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ドアセンサの周囲に何かの音がないか確認してください。</li> <li>●ドアセンサの周囲にループ誘導コイルなどの電磁場がある場合は、電磁的検出を Off にしてください。電磁的検出の項を参考にしてください。</li> </ul>
ドアセンサが発信していないのに、受信機が反応する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●近くに同じ無線スイッチの機器があることが考えられます。グループ内の全ての発信機及び受信機の無線スイッチを変更してください。</li> </ul>

## 仕様・技術情報

サイズ	: 80×145×36mm
重量	: 190g(電池含) 155g(電池なし)
色	: 白地 / 赤色三角マーク
付属品	: 外部接続マイク 750mm (BE9200)
電池	: 9V アルカリ電池 9V リチウム電池
電池寿命	: アルカリ電池 約 5 年 リチウム電池 約 10 年
消費電力	: 作動時 <30mA 待機時 <10μA
無線周波数帯	: 315MHz
無線切替スイッチ	: 標準で 64 通りの設定が可能
無線到達距離	: 直線見通し距離約 30m。建物の構造・材質やテレビ、コンピュータなどの家庭用電化製品の影響により到達距離が短くなることがあります。
アクセサリ(別売)	: 外部接続マイク 2, 500mm (BE9199)